

〈授業デザイン構想例 5〉

中学校 第3学年 道徳 かけがえのない命「臓器提供」
単元構想：現代的な課題における探究のプロセスを踏まえた学習



教科としての特性（教科化に伴う）

答えが一つではない道徳的な問題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」への転換

【中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P2】

本教科で育成を目指す資質・能力 ※道徳の目標に「見方・考え方」の表記はなし

- ・それぞれの場面において善悪を判断する力である。つまり、人間として生きるための道徳的価値が大切なことなどを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが求められるか判断する能力である。 【道徳的判断力】
- ・道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情のことである。人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情のことであるとも言える。 【道徳的心情】
- ・道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働きである。 【道徳的实践意欲】
- ・それらに裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え 【道徳的態度】

【中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P18】

本教科で働かせる見方・考え方

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

【中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P13】

視点1

各教科等と「持続可能な社会(の創り手)」との関連

第3章「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2（6）

科学技術の発展と生命倫理との関係や持続可能な発展など現代的な課題の取扱いにも留意し、身近な社会的課題を自分との関係において考え、その解決に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てるよう努めること

【中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P99】

視点2

授業における個別最適な学びと協働的な学びを一体的に捉えた学習活動

<p>指導の個別化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が道徳的な問題意識を想起し、自分の問題として深く見つめ、日常の学校生活を通して道徳的問題に気づき、自分の「学習課題」を設定する。 	<p>学習の個性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が自らの道徳的な問題に気づき、問題意識をもつ。その解決に向けた学習活動や学習課題を準備する。 ※子供達の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるように工夫する。 	<p>協働的な学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの内容項目をのぼしたいか選んだ目標の情報を共有する。 ・臓器提供に賛成か反対かポジショニング機能を用いる。（理由を意見交換） ・振り返り等を他者参照することで自分の考えと比較することができる。・お互いの考えや振り返りを共有する。
--	--	---

視点3

個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・授業の流れを共有・・・本時の学習の見通しが持てるように、授業の流れを表示する。
 - ・用語等を調べたり、インターネット検索で調べたり、授業に関連する動画を視聴する。
 - ・他者参照・・・友達の考えを確認し、自分の考えと比べる。
 - ・振り返り・・・学習を通して学んだ事をクラスで共有する。
- ①電子黒板 ②デジタル教科書 ③検索機能 ④入力機能 ⑤カメラ機能 ⑥思考ツール
⑦スライド（プレゼン）機能 ⑧学習動画 ⑨共同編集（共有）機能 ⑩コメント機能

視点4

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に位置付けた授業デザインの構想例

学習指導要領を基にした授業デザインを構想するにあたってのポイント（単元）

単元名：「平和を築くために大切な事は何だろう？」～地域を見つめて～
 「パッケージ型ユニット道徳」とは、学習の主人公である子供たち一人一人が自らの学びを位置づけ、その道徳的価値を追求するための課題意識を明確に一貫した学びを提供すること。本ユニットは、各教科、特別活動、総合的な学習の時間、学校行事等との関連を図る「複合型ユニット」を取り入れる。
 【①公民】平和主義【②総合】平和祈念資料館訪問【③道徳】折り鶴プロジェクト【④公民】新しい権利【⑤道徳】命のトランジットビザ（国際理解）【⑥道徳】「臓器提供」〈本時〉【⑦音楽】月桃【⑧学活】慰霊の日特設授業【⑨国語】平和の作文・メッセージ【⑩総合】地域の戦跡巡り【図書委員会】平和企画展
 【現代的な課題】食育、健康教育、消費者教育、防災教育、福祉に関する教育、社会参画、伝統文化教育、国際理解教育、キャリア教育等

教材名：道徳 かけがえのない命「臓器提供」D生命の尊さ

流れ	単元の流れ（5/10）	指導の個別化	学習の個性化	協働的な学び	ICTの活用
事前	【課題の設定】 ※年度はじめに個々人の道徳目標を決める。 ※単元に入る前に単元を貫くテーマについての自分自身の考えをもたせる	主			目標設定
問題意識をもつ	【情報の収集】 1 クラスの実態を知る 「臓器提供意思表示カード」判断をする。 A自分だったら提供するかB提供しないか理由を基に選択する 【表現】判断した根拠をペアで意見交流する クラスの実態が分かるように可視化する	主		対	判断の共有 電子黒板
	【課題の設定】 2 本時のめあてを確認する 「命の尊さについて考える」	主		対	
教材との対話	【情報の収集】 3 教材での学び問題を追求する ①教材の提示：電子黒板・教科書・音声など ②それぞれの立場で考える ○様々な立場から考える C提供する家族 D移植する家族		対	対	プレゼン
自己との対話	【整理・分析】 臓器提供について、家族や周囲の人たちが迷うのはどうしてだろう	主		対	表現
	【表現・まとめ】 4 自分自身の問題として捉え直す A B C Dそれぞれの立場で考える 「あなたにとっての命とは？」	主	深	対	思考ツール
まとめる	【まとめ】 5 道徳的価値をまとめ、つなげる ①本時の学習を振り返り、今後の生き方に生かす	主	深		振り返り
	【表現】 ②振り返りの共有		深		電子黒板

浅見哲也 安井政樹 2023 『道徳授業の個別最適な学びと協働的な学び』 明治図書

田沼茂紀 2017 『道徳科授業の作り方パッケージ型ユニットでパフォーマンス評価』 東洋館出版